

普天間基地の訓練の一部を矢臼別に移転!?

鈴木宗男氏が画策か?



米海兵隊移転訓練反対5.23全道集會に
各地から400人が参加しました。

私も全道集會に参加してきました。海兵隊のヘリ訓練の矢臼別受け入れは絶対に許されません。沖縄にいらぬものは、全国どこでもいりません。普天間基地の無条件撤去めざしてがんばります。



すでに矢臼別は、海兵隊が金武町で実施していた県道越えの実弾演習を受け入れています。十四年間で十一回の演習が行われています。この演習は陸上部隊の訓練だけですが、今度はこちらに普天間にいるヘリ部隊の演習も加え、陸上と空の演習を一体に行おうというもの。ヘリコプターの離発着訓練、低空飛行、上空からの射撃訓練が計画されます。こんな演習がやってくれば、これまでの演習被害の比ではありません。しかも、演習のたびに、海兵隊員が釧路市の繁華街にも繰り出しています。心配ごとはずきません。



もともとこの案は、迷走する鳩山内閣への助け舟として、新党大地の鈴木宗男氏が言い始めたもの。これを受けて、鳩山首相は鈴木宗男氏と会談、在沖縄米軍の訓練の全国分散移転に道内の自衛隊基地や演習場を活用できるように協力を要請し、鈴木氏も積極的に動くことを約束しました。

普天間基地の移設先探しで、迷走を続けた鳩山首相。結局、「名護市の辺野古沿岸部に新基地を建設する」と議論は逆戻り、県民への約束を反故にしたままアメリカと一方的に合意してしまいました。
しかも、それではアメリカに顔向けできないと、米軍の訓練を日本全国に拡大することに。その有力候補地に別海町・浜中町・厚岸町にまたがる陸上自衛隊の矢臼別演習場が上げられています。



村上かずしげ 通信 10.5.30

発行 村上和繁 23-5212